

平成27年度決算の概要

市民の皆さんが納める税金や国・県からの補助金は、市民生活のためにさまざまな形で使われています。決算は、それらのお金が、皆さんの暮らしやまちづくりにどのように生かされたのかをまとめたものです。今号では平成27年度の決算の概要をお知らせします。

【一般会計】

「一般会計」は、福祉・教育など市民生活全般に関わる基本的な事業を行う会計で、徳島市の会計の中心となるものです。

平成27年度の一般会計決算額は、歳入が983億3980万円、歳出が966億8536万円でした。翌年度へ繰り越す事業に充てる財源を差し引いた「実質収支」は、10億4101万円の黒字で、前年度の実質収支や財政調整基金への積み立てを除いた「実質単年度収支」では、2億5476万円の赤字となりました。

また、市の貯金である財政調整基金と減債基金残高は、平成27年度末で70億3420万円と、前年度より7億2522万円増加しています。

歳入

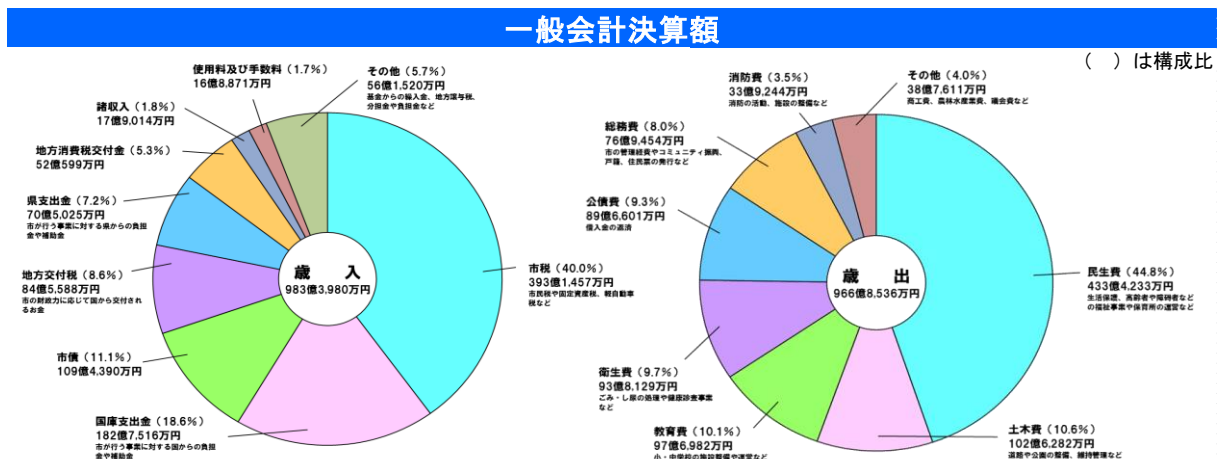
歳入総額は、前年度より11億569万円増加しました。

その主な要因は、市税が25億3454万円、財産収入が3億8978万円減少した一方で、消費税率引上げの影響の平年度化に伴い、地方消費税交付金が20億3887万円、消防債や減収補てん債の増加などにより、市債が10億6500万円、施設型給付費国庫負担金や地域住民生活等緊急支援交付金の増などにより、国庫支出金が5億6355万円増加したことなどによるものです。

歳出

歳出総額は、前年度より22億4166万円増加しました。

その主な要因は、長期債元金償還金の減などにより、公債費が3億498万円、中小企業振興基金積立金の減などにより、商工費が2億5945万円減少した一方で、交通事業経営改善に要する経費補助や国勢調査費の増などにより、総務費が6億9721万円、施設型給付費負担金の増などにより、民生費が7億7040万円、道路橋りょう新設改良費の増などにより、土木費が7億2189万円増加したことなどによるものです。



【特別会計・企業会計】

一般会計とは別に、保険料など特定の収入を財源として特定の事業を行う場合に経理を明確にするため設置している「特別会計」と、法律に基づいて地方公共団体が経営する水道やバス事業などの「企業会計」があります。

特別会計の決算

特別会計全体の歳入総額は637億910万円、歳出総額は632億4637万円、歳入歳出差引額は4億6273万円の黒字となりました。これは、下水道事業や介護保険事業などの黒字によるものです。

企業会計の決算

総収益は168億9597万円、総費用は159億1094万円、差し引き9億8503万円の黒字となりました。これは、水道事業や病院事業などの黒字によるものです。

表1 一般会計・特別会計決算額

区分		歳入	歳出	歳入歳出差引額
一般会計		983億3,980万円	966億8,536万円	16億5,444万円 (6億1,343万円)
特別会計	国民健康保険事業	304億9,700万円	306億651万円	△1億951万円
	食肉センター事業	1億3,905万円	1億3,905万円	
	下水道事業	58億5,513万円	56億8,292万円	1億7,221万円 (1,164万円)
	奨学事業	2,549万円	1,969万円	580万円
	土地取得事業	5億5,547万円	5億5,547万円	
	住宅新築資金等貸付事業	1,192万円	1,192万円	
	介護保険事業	234億4,584万円	231億7,208万円	2億7,376万円 (57万円)
	後期高齢者医療事業	31億7,920万円	30億5,873万円	1億2,047万円

※注 歳入歳出差引額欄の()は、翌年度へ繰り越す事業に充てる財源

表2 企業会計決算額

区分	総収益	総費用	純利益(△純損失)
中央卸売市場事業	5億3,457万円	5億2,897万円	560万円
商業観光施設事業	1億9,409万円	1億6,867万円	2,542万円
水道事業	51億2,446万円	43億6,552万円	7億5,894万円
旅客自動車運送事業	7億6,986万円	7億5,625万円	1,361万円
市民病院事業	102億7,299万円	100億9,153万円	1億8,146万円